

主催：立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構（R-GIRO）プロジェクト「対人援助学の展開としての学習学の創造」・人間科学研究所（キャリア・サポートの実験的研究）／連携：対人援助学会
シンポジウム

当事者主体の学びについて

ー「ヒトマト」などの実践事例から考えるー

【シンポジスト】

石幡愛（NPO 法人クリエイティブサポートレッツ）
田中保帆（NPO 法人クリエイティブサポートレッツ）
朝野浩（立命館大学 教職教育推進機構 教授）

【コーディネーター】

望月昭（立命館大学文学部教授）／乾明紀（立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員）

昨年度の R-GIRO 公開研究会では、「対人援助学の展開としての学習学」という本プロジェクトの基本的な考え方についての対論をおこなってきました。今年は、対人援助学会と連携し、事例発表を通じて「対人援助学の展開としての学習学」を検討しています。

3月22日のシンポジウムは、保育園、学校、施設などでの先進的な取り組みを紹介いただき、参加者との意見交換にて「当事者主体の学び」について考えていきます。

シンポジストは、障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァの放課後等デイサービスで、日々の行動を『ヒトマト』に記録し、きめ細やかな学びの支援を実践している NPO 法人クリエイティブサポートレッツより石幡愛さんと田中保帆さんに参加いただきます。また、立命館大学朝野浩教授にもシンポジストとして参加いただきます。朝野教授は、特別支援学校の校長を務められ、現在は、障害児保育実践者を対象に当事者情報の記録や当事者参加のあり方などについてアドバイスされています。

「子どもたちの学び」と「それを支える側の学び」の双方の視点から「当事者主体の学び」について、ご参加いただいた方々と一緒に考えていきたいと思っております。是非ご参加ください。

日時	2013年3月22日(金) 18:00~20:00
場所	立命館大学 衣笠キャンパス 創思館 401・402
	●キャンパスマップ http://www.ritsumei.jp/campusmap/index_j.html ●交通アクセス http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html
参加費	無料 ※終了後は会場を移動しての懇親会を予定しています。懇親会は有料となります。
対象	学習学について関心のある方、障害者支援について関心のある方など ※社会人、大学院生・学部生(大学問わず参加可能)どなたでも参加可能です。
申込方法	氏名・所属・身分(学生、社会人など)・メールアドレスをご記入の上、以下のメールアドレスに送信してください。→ learning1218@gmail.com (会場の都合上、先着 35 名となります)

■シンポジスト・プロフィール

□NPO 法人クリエイティブサポートレッツ 石幡愛・田中保帆



【石幡 愛】NPO 法人クリエイティブサポートレッツ事務局。東京大学大学院教育学研究科博士課程。専門は教育心理学、応用行動分析。2006年～2010年、科学技術振興機構 CREST 自閉症児早期高密度治療スタッフ。2008年～アートプロジェクトや地域教育活動に関わりながら、プロジェクトの記録および評価に携わってきた。現在は、記録と評価の視点や手法を実践現場に埋め込み、仕組みとして定着させることに関心がある。



【田中 保帆】NPO 法人クリエイティブサポートレッツ アルス・ノヴァ支援員。保育士。京都造形芸術大学こども芸術学科1期生。在学中は、ワークショップの企画や運営などの実践を通じて人と関わりながら活動をしてきた。現在は、日々向き合っている利用者それぞれの持つ特徴を、その人にしかない独自の表現として読み替え、マイナス面からではなくプラス面から始まる支援を探り続けている。

□朝野浩



36年間にわたる特別支援教育に携わり、特に、全国唯一の障害種別を超えた京都市における総合制・地域制養護学校の再編成に向けたマネジメントによる学校組織運営、保護者参加による個別の包括支援プランによる教育課程編成等を中心的に行った。現在は立命館大学に所属し、京都市私立幼稚園協会特別支援教育顧問として、約80園あまりの幼稚園教育における課題のある幼児の指導あり方と園内体制づくり、個別の指導計画、教育支援計画などの策定を行っている。著書は「新しい個別の指導計画 e-iep 保護者中心の支援の輪」（共著）など。

■コーディネーター・プロフィール

□望月昭



立命館大学教授（文学部・応用人間科学研究科）、対人援助学会理事長、日本行動分析学会理事。慶応義塾大学助手、愛知県心身障害者コロニー研究員を経て現職。

学生ジョブコーチを中心とした対人援助実践と研究を経て、対人援助学会の設立に参加。立命館グローバル・イノベーション研究機構における研究プロジェクト「対人援助学の展開としての学習学の創造」のリーダー。著書は「対人援助の心理学」（共著）など多数。

□乾明紀



立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員、対人援助学会幹事。佛教大学職員、財）大学コンソーシアム京都職員、京都造形芸術大学芸術学部准教授（プロジェクトセンター副センター長）を経て現職（平成25年4月からは、光華女子大学キャリアセンター准教授に就任予定）。様々なプロジェクトをおこない「価値づくり」と「人材育成」をおこなっている。専門は、プロジェクトやコミュニティのデザイン、応用行動分析学。